

手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年10月5日(金)発行
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

粘り強く襷をつなぎ8位入賞！ 福島県中学校体育大会駅伝競走大会 10/3(水)

10月3日(水)、県営あづま総合運動公園内コースにおいて第61回福島県中学校体育大会駅伝競走大会が開催されました。市大会第1位の本校女子駅伝部が競技に挑みました。5名の選手が粘り強く襷をつなぐとともに、補欠やサポートの生徒達も心をひとつにして最後まで走りぬぎ、42分32秒で第8位入賞に輝きました。(1位40分42秒…6位41分52秒、7位42分22秒) 目標としていた東北大会出場枠の6位入賞には惜しくも届きませんでしたが、生徒達は本当によく頑張りました。昨年度の県大会初出場での第10位を上回る結果を残せたこと自体素晴らしいことです。自信と誇りをもってください。何よりも、昨年度から2年間をかけて新たな伝統の礎をつくってくれた3年の橋本さん、佐竹さん、星さんの3名には心から感謝します。ご苦労さまでした。そして、1・2年生はこの経験を次年度以降に是非つなげていってほしいと思います。保護者やご家庭の皆様にも温かい応援をいただきました。ありがとうございました。

特設駅伝部の生徒達と閉会式での入賞発表



【選手】○数字は学年

- 1区橋本暖亜③、2区小林凜香②、3区佐竹ゆうな③
4区伊藤 杏②、5区伊東舞莉彩②

【補欠】星キララ③、阿部心海②、林 那夕②

【サポート】

- 鈴木葉菜②、藤田奈々花②、荒池 蒼①、管野琳梨①

『百花繚乱』～育てよう、力の芽～ 榎祭に向けて

朝や放課後の学校には各学級からの歌声が響き渡っています。「榎祭」が近づいてきたなという思いです。「榎祭」は生徒会最大のイベントであり、これに賭ける生徒のみんなの思いも強いものがあることでしょう。今年度のテーマは「百花繚乱」～育てよう、力の芽～。「百花繚乱」とは、「いろいろな花が色とりどり咲き乱れること」を意味します。榎祭では、ステージ上で発表・演技する人、それらを陰で支える人、それらを盛り上げる人と様々ですが、それぞれがそれぞれの立場で、全力でその「持ち味」を出しきることができれば、このテーマが実現できると思います。そして、この榎祭に至るまでの過程、榎祭で得た学びや経験をその後の自分の生活や学習にどう生かしていくかも、とても大切です。

これが「力の芽を育てる」ことでしょう。特に3年生は最上級生としてむかえる最後の榎祭です。総勢227名の文化祭実行委員会の生徒達、それらを束ねる3年生のリーダー達の働きに期待しています。また、この榎祭(特に合唱)に向けての取組によって、学級の団結力が強まることも期待しています。



合唱の練習風景

各係のリーダー達

文化祭実行委員長	吉田浩太郎
オープニング係	古関 耕大
ビックアート係	関 彩音
会場係	上野 龍信
装飾係	坂内 咲依
有志発表係	安齋 涼
総合発表係	赤沼みどり
合唱係	渡邊 凜
放送・照明係	中島 英大
エンディング係	矢吹里桜奈
学習展示係	折笠 大翔
要項係	橋本 翔哉

保護者の皆様へ

「榎祭」での生徒達の輝く姿を是非ご覧ください!

■ 現在、生徒達は10月20日(土)に開催される榎祭への準備を頑張っています。当日は是非とも生徒達の輝く姿や頑張りを観ていただきたいと思います。当日の日程等につきましては、本日案内文書を配付しましたので、それをご覧くださいませようお願いいたします。

■ 先日、市の教育委員会より「通学区の弾力的運用制度」についての発表がありました。現在の本校の生徒達ではなく、来年度以降入学する生徒達にかかわる内容となっております。

この制度により、来年度から富田東小学校と行健第二小学校の児童または、入学予定の児童は、「弾力的運用制度」を利用して、隣接する小学校へ進学することができます。また、来年度から市内の小学校に通学している児童または、入学予定の児童は、「特認校制度」を利用して金透小学校、西田学園に通学することができます。(下の図を参照ください。)

関係するところで詳しく言いますと、平成31年4月から、富田東小学校の児童及び平成31年度入学予定児童は、弾力的運用制度や特認校制度を利用して、富田東小学校を含む隣接校6校、特認校2校(た

だし、西田学園は新1年生のみ)の計9校へ通学する学校を選択することができるということです。また、中学校に進学する時は、富田中学校、または進学した小学校の児童が進学する中学校に進学できることとなります。

この制度は、市内の小学校の児童数が減少している中、富田東小学校及び行健第二小学校の児童数が今後増えていくという状況を踏まえて制定されたものです。本校は数年後、市内で生徒数が一番多い学校になります。この制度は、本校の近い将来にも大きく関係するものであり、今後その動向を注視していきたく考えております。

なお、この制度を利用したい場合は市教育委員会学校教育推進課に申請することになります。今年度の申請期間は、10月1日(月)から10月31日(水)までとなっています。

